

調布市

で頂いたご意見の紹介

調布市で頂いたご意見の紹介

1. オープンハウス

調布市では1月30日(日)に緑ヶ丘地域福祉センター、2月9日(水)に調布市東部公民館、2月14日(月)に文化会館たづくりの合計3回のオープンハウスを開催し合計 135 人の方に来場いただきました。オープンハウスで実施した「オープンハウスアンケート」では 75 人、「パンフレットアンケート」では 25 人の方にご意見を頂きました。

◆オープンハウス開催状況

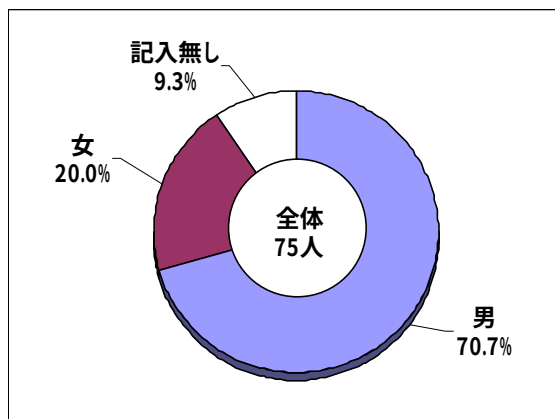
会場名	日	時	来場者	オープンハウスアンケート回答者	パンフレットアンケート回答者
緑ヶ丘地域福祉センター	1月30日(日)	10:00-16:00	43人	23人	5人
調布市東部公民館	2月9日(水)	14:00-20:30	40人	19人	7人
文化会館たづくり	2月14日(月)	14:00-20:30	52人	33人	13人
合計			135人	75人	25人

1-1 オープンハウスアンケート

1-1-1 回答者の属性

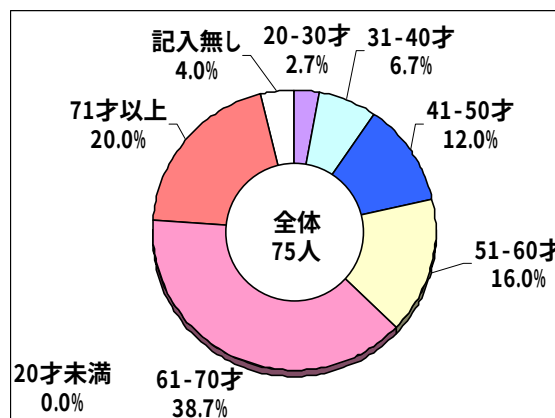
①性別

回答者の性別は「男性」が 70.7%、「女性」が 20.0%となっています。



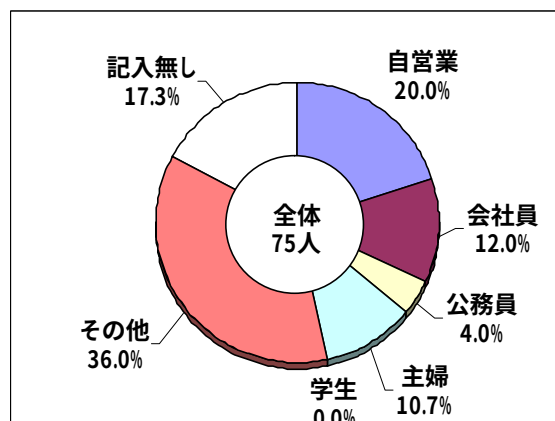
②年齢

年齢層は「61-70才」が 38.7%、「71才以上」が 20.0%と、60歳以上の方の回答が 58.7%となっています。



③職業

職業は「その他」が 36.0%、「自営業」が 20.0%となっています。

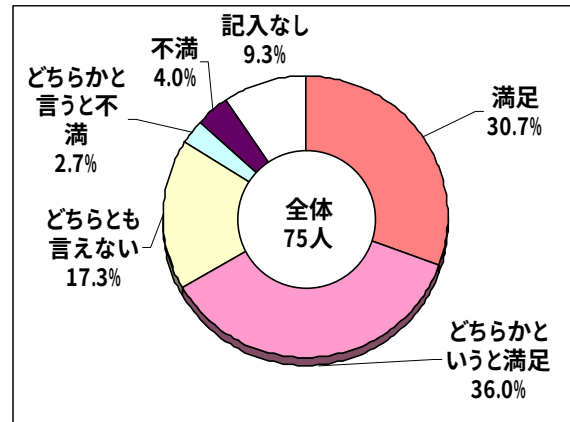


1-1-2 外環オープンハウスの展示内容についての印象について

外環オープンハウスの展示内容についてのご意見を頂きました。

(選択式で回答していただきました。)

「満足」が 30.7%、「どちらかという満足」が 36.0%と、66.7%の方が「満足」と回答しています。



1-1-2 今後必要な情報について

外環について今後必要と思われる情報についてご意見を頂きました。

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- とにかく計画スケジュールが早く知りたい。
- どのように計画が効いていくのかより細かな情報。
- 早急に進めて欲しい。
- 各自治会にもお知らせを。
- 自治会にもこれからお知らせをもらいたい。
- 換気所における排出ガス。
- 公害や災害、事故発生時の安全対策。この地域は古来沼地等の水源地帯で地震災害時の液状化も危惧されます。その対策、方法。
- 新聞等にもっと情報をのせるべき。
- 一日も早く実現して下さい。
- 計画反対。
- 計画に反対。
- 決定があまりに長すぎる。早期決定でやっていただきたい。
- いつ頃工事をやりますか。
- 外環線地区の他の所の意見を聴きたい。大深度の話で、関心ない。
- 外環沿線会議の議事進行状況を市報等で知らせて下さい。
- 情報ではなく、何時、どのように決定されるのか明確なところが知りたい。
- 野川の水流にかかる影響が知りたい。
- 早く方針を決定してもらいたい。
- 計画決定→事業決定後の明細について。
- 常時、施設を設置しておき、より多くの人に情報を与える策も必要ではないか。
- インターC案で早期に決定してほしい。
- 今後の手続きの筋目ごとに、ご提供をお願いします。
- 各地域の福祉センターなどに情報を常置して欲しい。
- インターチェンジをどのように設置するのか。料金はどうか？地元の利便性を考慮して欲しい。東八道路から双方向乗り降りを是非!!
- 地域に配慮しながら早い完成を願う。
- 説明を聞いて広範囲な課題が多く、今とまらない。
- それぞれの計画案によって外環にかかる家に今後のために状況を詳しく教えて欲しい。どのようなのか、地上に道路が出来た場合、地下の場合。
- 環境性・経済性を定量的に測り、事業の評価が出来るように。

- HP、オープンハウスでは情報を知ることの出来る人が限られるので、今回回覧板でオープンハウスの開催案内が回ったように、広く周知してほしいと思います。外環についての情報を知ることがあまりなく、どこを通るのか、どんな工法かについてもよく分からないので。
- 本当に必要なのかどうか、直接影響を受けると考えられる地域住民の生の声が聞きたい。
- 車社会が果たして良いのかどうか、情報を知りたい。
- 市報などで必要な情報を載せていただきたい。
- 専門的に分かりやすい。
- 各案の長所・短所を箇条書きにして頂けると分かりやすい。
- 工事及び開通後の騒音情報、環境汚染情報。
- 環境への影響、IC 付近の騒音・振動・渋滞の影響。
- 今の時点で分かることがまだまだ少ないので、仕方ないと思いますが、具体的な比較がしにくいので、検討する材料が不足していると思います。調査等で分かったことを順次提示してくださるのを待ちたいと思いました。
- 地球環境の劣化、少子化…その他、もっと現況・未来について、根本的なところを考え、検討してほしい。利便性、現況交通の打開だけを考えず、より全体的なところを検討してほしい。作る方向だけを考えているように思える。大きな視野に立ってください。地球規模を長期的に。道路を作るための役人だから仕方ない？
- 外環は建造物が多いので、私は素人なので分かりにくい。
- いつまでに結論を出して、どれくらいの工期が必要なのか？（案によるだろうが）
- 各案におけるメリット、デメリット、特徴を普通の人が分かる言葉で表現。環境（振動、大気）のシミュレーション結果、IC 構造別も検討する。

1-1-3 外環オープンハウスの改善点について

外環オープンハウスの改善した方がよい点についてご意見を頂きました。

（意見をご自由に記入していただきました。）

【全意見】

- （都に）緑ヶ丘団地内の道路もよろしく。グリーンベルトの件。
- わかりやすく良かったです。
- 緑地対策をしっかりとってもらいたい。模型ではその点がどうなるかわかりづらい。
- 現在のオープンハウスで良い。
- 環境の情報が少ない。仮に情報が出されたとしても、一般の人にはわかりにくい恐れがある。例えば、環境 NGO と連携してオープンハウスでの説明者に環境 NGO を加えても良いのではないか。
- 計画反対。
- 計画に反対。
- もっと現実的な話を聞きたい。
- 多くの市民が気軽に出席できるよう、ご努力願います。
- 東八道の早期開道し、本計画にドッキングを。
- 全体の工程についての説明資料が少ないと思います。（何年開通を目標としているのか。）計画パネルを使って（常設展示等で）もっと PR すべきです。（日々を限定してある期間、市役所、公民館、等のホールで）
- 天災のときにも利用できる多目的効果のある利用促進考えていただきたい。
- 簡略したビデオ（説明部分）の導入。
- 一日、一箇所ではなく、同一の場所で複数日開催していただきたいです。
- 初めて「外環オープンハウス」を参観させていただきました。いろいろと参考になりました。
- 認識不足でよく分からない（初めて顔を出した）。説明を一通り聞き、パンフレットももらったので、今後よく研究し、意見を申したく思います。
- 単なる事業提案でなく、費用・効果（経済、環境）、工期など総合的に評価し、国としては○案でありたい、都としては○案としたい等の方針を明示して、早く意見を集約できるように。
- 分かりやすく展示、説明して頂けたと思います。
- 素人にも分かりやすいもの。シミュレーションを体験できるもの（体で感じられるもの）。
- 今後必要な情報について、整理した資料。

1-2 パンフレットアンケート

1-2-1 外環の必要性について

外環の必要性について、①大深度地下を活用した外環計画について、②外環の必要性を議論する上で重要と思われる観点について、③外環の必要性の議論にあたり必要と思われる情報についてご意見を頂きました。

①大深度地下を活用した外環計画について

(意見をご自由に記入していただきました。)

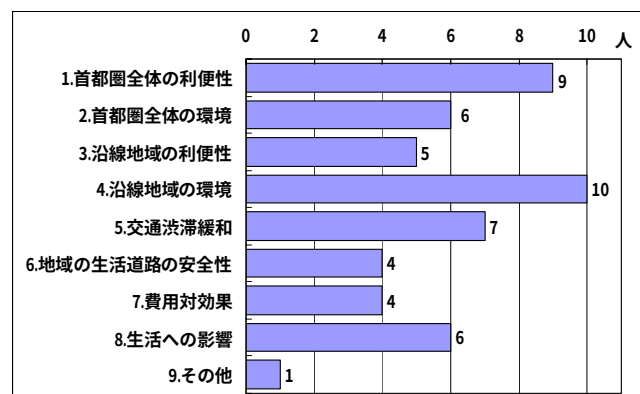
【全意見】

- 高齢のため利便性より生活への影響の方を重要に考えます。
- 賛成。
- 大深度地下方式は安全面での技術が充分だと思いますが何が起こるかわからない。自然災害、皇居のお堀の水があふれて地下に流れるということもありました。その他では道路予定地からはずれるか、そばに住んでいる人達にも配慮が必要と思う。
- 計画変更は早期に。
- 良い計画です。
- 作る場合の影響をどう対処できるかで判断されると思う。
- 野川の水量が心配。
- 環境対策や関係居住者等のコストを勘案して最善と思う。
- 震災時やトンネル内の火災発生時など、避難が安全に、スピーディに出来るよう、十分な計画でお願いしたい。(深さが深いので)
- 道路だけの問題でなく、防災等地域の開発の問題と思いました。財政面も今後不安があり、大きな視点で捉えていく必要があると思いました。
- 用地買収費用、騒音の観点から望ましい。
- 外環の必要性は大賛成です。大深度地下工法も工事近辺に迷惑のかけ方が最も少ない方法だと理解しています。
- 必要である。
- 南北を結ぶ道路の充実が良いと思うが、ICの設置数など、どうやって決めていくのか難しいだろうと思う。メタンガスは出ないのか？
- 大深度地下が分かりません。
- 本線の下部に救急スペースがあることを知った。これで不安がかなり解消された。
- ジャンクションやインターチェンジについては、地上部分で接続せざるを得ず、環境への影響はやはり大きいといわざるを得ない。安全面での心配や、地下水などへの影響が心配される。

②外環の必要性を議論する上で重要と思われる観点について

(選択式で3つ以内で回答を選択していただきました。)

「沿線地域の環境」が 10 人、「首都圏全体の利便性」が 9 人、「交通渋滞の緩和」が7人の順になっています。



③外環の必要性の議論にあたり必要と思われる情報について

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- 道路を促進するための説明が多すぎる。
- 党利、党略や感情論（反対のための反対など）でなく長い将来のことを考えて早急に実施して欲しい。
- 計画の内容、影響を受ける住民の気持ち、考え。
- 立ち退きに関し立ち退き料とかを示す。
- 早く答えを出してほしい。
- 影響の具体性と、その改善策。
- 交通量の予想。
- 引き続き具体案を提示の上で賛否の意見・情報交換が大切。
- 首都圏全体の利便性、沿線地域の利便性、費用対効果。利便性については、費用対効果もあわせて、もっと強く、多くの場でPRすべきです。一度計画決定して道路を完成してしまうと、後から追加インターを作りたいと希望しても100%作ってもらえない。
- A案はジャンクション周辺の住民に負担をもたらすだけで、メリットが何もない。最悪である。B、C、Dの中で検討すべし。
- 住民（沿線の）意見がどうであったか。それがどのように反映されているか。
- 費用に対して効果は適正か。
- 議論をする時、こちら側とあちら側の位置がどのようになっているのか。その上で何を話したらよいか。

1-2-2 地域の課題について

外環整備に伴い地域で懸念される課題、外環が整備されないことによる課題など、身近に懸念される課題についてご意見を頂きました。

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- 良くできている。
- 外環道と中央高速にはさまれる住民の生活環境。
- 野川に対する影響。
- 排気塔に対する景観の問題。
- 長らく議論されている話であり、公的規制等が街・住居環境の成長・充実に課題・制限となっていることもあり、早期具体化・施策を望まれる。
- 東八道路と外環交差部にフル規格（東八から乗り降り、外環から乗り降り）のインターを是非作ってもらいたい。利便性向上、交通渋滞緩和が大幅に改善される。
- せっかくジャンクションを作るのだから、地域住民が中央道にアクセスする方法も考えるべし。
- 懸念される課題。土地買収に時間がかかって工事着工が遅れること。外環整備がされないと、首都圏の環境、交通渋滞が改善されない。やがては日本全体の問題だと思う。一日も早く完成を望みます。パンフレットでもっと強調すべきです。
- 換気所からは、車の騒音などももれてくるのですか？
- 地域防災、ゴミ、車の騒音。
- 経費、工期から考えてC案がよい。A案と迷うところ。とにかく早くしてほしい。

1-2-3 インターチェンジについて

「東京外かく環状道路(関越道～東名高速)(三鷹市～調布市の区間について)」パンフレットでは、外環の整備や東八道路インターチェンジ、国道 20 号インターチェンジの設置の有無による、効果や影響について提示していますが、インターチェンジの設置の有無の検討にあたり、①たたき台とした4つの検討案について、②インターチェンジの設置の有無の検討にあたりよりよい案としていくための提案やアイデアについて、③インターチェンジの設置の有無の検討にあたり考慮すべき点についてご意見を頂きました。

①東八道路インターチェンジ、国道 20 号インターチェンジの検討案 (A～D 各案) について (パンフレット P.9 参照)

(意見をご自由に記入していただきました。)

【参考】

A 案:インターチェンジを設置しない場合

B 案:東八道路と国道 20 号に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案

C 案:東八道路南側に東名方向、国道 20 号北側に関越方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案

D 案:東八道路南側に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案

【全意見】

- 環境への影響について定性的な説明しかなくよくわからない。数字を出し、かつ、その数字をわかりやすく具体的に説明して欲しい。
- A 案で早急に。
- D。
- A。
- D の案+中央高速(出入)にしてほしい。ただし、都市計画道路 3・4・17 は幅 16m→もっと幅を取るようにして、20 号からの出入口を作る。
- C 案。
- B: 金と時間がかかりすぎ。ぜいたくすぎる。A: 地元の利便性なし。絶対ダメ。C: 20 号の混雑が予想される。20 号は中央道の行き来で十分。D: この案が最適。双方向から乗り降りできること。(多少迂回しても)
- IC があれば便利で利用するとは思いますが、なければならぬで、それなりに生活できるとも思う。どの案がよいとは決断できない。
- 自動車を運転しないので分かりません。(ただし混むと思います)

②インターチェンジの設置の有無の検討にあたりよりよい案としていくための提案やアイデアについて

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- いきなり一般の人に聞いてもわからない。
- 国道 20 号線が狭いため、国道を地下構造でバイパスにしては。
- 外環が通っても利用できなければ意味がない。中央高速にも出入りできるようにしてほしい。
- 別紙地上部の取り扱いにある中段の「都市計画区域を縮小して車道と、歩道を整備」とする案で、地域住民の交通路も確保してほしい。
- 東八道路を外環用出入口にすべく、いま開通の部分を含めて改善すべきです。
- ドライバーのマナーとモラルの徹底を考えてください。

③インターチェンジの設置の有無の検討にあたり考慮すべき点について

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- 計画予定地にあたる人達との話し合い。

- 今後の車両台数が増えるのか、また将来車両の形態の変化（ハイブリッドカー、電気自動車）した場合の環境への改善予測なども積極的に PR すべき。
- 料金所、料金システムはどうなるのかも、考慮してください。
- 利便性が重要である。
- せっかく作るのなら、たくさんの車が通れるような大きな道にしてほしい。
- 住民の健康面と騒音など。

1-2-4 自由意見

（意見をご自由に記入していただきました。）

【全意見】

- 長時間会議ですので、椅子に座って出来るところを探してほしい。
- 地域全ての利便性と、都心を抜ける交通対策とは一致しないと思う。
- 三鷹～調布間以外の練馬方面のオープンハウスも開催してください。青梅街道 IC を作ってください。
- 何年かけて作るのか。国民負担はどのくらいか。本当に作る必要があるのか。環境影響はあるのでは。どうしても必要であるならば、ゆっくり時間をかけて作るべきではないか。
- 途中で中断とか裁判とかが起きては困りますが、一日も早く完成させてください。
- 早く作ること。
- 換気所以外に、避難口の穴も何カ所か設置するのですか？
- もし外環ができあがったら、どのようになるのでしょうか。生活、周辺環境、利便性などが変わるのでしょうか。まだまだぴんと来ません。

2.意見を聴く会

調布市では1月30日(日)に緑ヶ丘地域福祉センター、2月9日(水)に調布市東部公民館、2月14日(月)に文化会館たづくりの合計3回の意見を聴く会を開催し合計 64 人の方にご参加いただきました。意見を聴く会で実施した「意見を聴く会」アンケートでは、25 人の方にご意見を頂きました。

◆意見を聴く会開催状況

会場名	日	時	来場者	意見を聴く会 アンケート回答者
緑ヶ丘地域福祉センター	1月30日(日)	14:00～16:00	23人	11人
調布市東部公民館	2月9日(水)	18:30～20:30	29人	10人
文化会館たづくり	2月14日(月)	18:30～20:30	12人	4人
合計			64人	25人

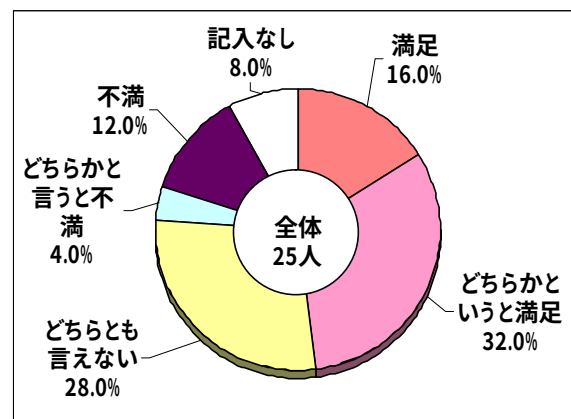
2-1 意見を聴く会アンケート

2-1-1 意見を聴く会に参加された感想について

意見を聴く会に参加された感想を頂きました。

(選択式で回答していただきました。)

「満足」が 16.0%、「どちらかという満足」が 32.0%と、48.0%の方が「満足」と回答しています。また、「不満」が 12.0%、「どちらかという不満」が 4.0%と、16.0%の方が「不満」と回答しています。

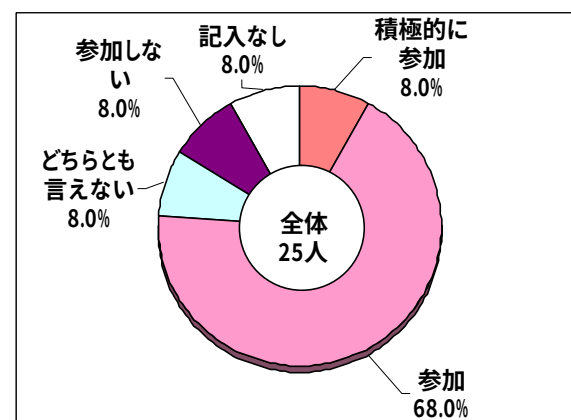


2-1-2 今後の意見を聴く会への参加意向について

今後、意見を聴く会が開催される場合への参加意向について意見を頂きました。

(選択式で回答していただきました。)

「積極的に参加」が 8.0%、「参加」が 68.0%と、76.0%の方が「参加」と回答しています。



2-1-3 議論が必要と思われるテーマ・内容について

議論が必要と思われるテーマ・内容についてご意見を頂きました。

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- ☐ 予定地、予定地から外れる人達の生活上の事情を。
- ☐ はじめに反対ではだめだと思う。
- ☐ 必要性の有無は議論済み。計画上の地権者が買い取りを希望している。
- ☐ 今はなし。
- ☐ 地元の人にとってなぜ外環が必要なのか、外環を作ることがどうメリットを生むのか、地元注目した情報で説明してほしい。インターチェンジの所要時間は、地元の聞きたい情報ではない。
- ☐ 計画反対。
- ☐ 外環道路が必要かどうか原点に戻って考える。
- ☐ 今回のA～Dの4案の提示・説明は有意義だったと思うが、当地域のみに関しては20号でのIC設置要否に焦点を当てた意見交換でよいと思う。
- ☐ 議論より具体的な事項について説明を聞きたい。
- ☐ 甲州街道とのICの問題で、必要かどうか、関係範囲において、より深く討議すべきと考える。
- ☐ 期限を決めて意見を聴く会は終わらすべき。
- ☐ 参加者が中高年代の方々が多く、若い人の参加を望む。
- ☐ 地域の交通量、また公害(音、排ガス)等の処理をどのようにするか、また資材等の搬入搬出等はどうするのか。
- ☐ 甲州街道の整備もしてほしい。
- ☐ 必要性の論議。
- ☐ 地震の時どうなるか。
- ☐ 必要性について。

2-1-4 自由意見

(意見をご自由に記入していただきました。)

【全意見】

- ☐ 早急に実施に移して欲しい。
- ☐ 外環沿線会議委員一人の意見での会合ではない。ある程度強く出るべき。
- ☐ 今はなし。
- ☐ 今日参加してみてどうしても作ることを前提に議論がなされている気がしてならない。インターチェンジの構造の話しが”全体の必要性”の話とどうつながるのかよくわからない。
- ☐ 今日の「意見を聴く会」に参加して、どうして議論が深まらないか再考の余地がある。
- ☐ 計画反対。
- ☐ 外環計画絶対反対。
- ☐ 地域代表の委員(PI 外環沿線会議の)と地域住民の関係はどうなっているのか。委員は地元から遊離している印象を得た。実際の交通渋滞を知らないままの意見が多い。渋滞を知らせる資料が必要。
- ☐ 都市計画決定から40年近くたつが、国・都は何をしていたのか？計画区域内の住人達は困っている。早期にはっきりしてほしい。生活設計が成り立たない。外環が通るのに利用できないでは意味がない。中央高速にも出入りが出来るようにしてほしい。道路を作るのに反対があるのは当たり前。反対のない道路計画はない。
- ☐ 国道20号と調布で中央高速とのインターチェンジがあるので、ここではICは必要ないと思う。
- ☐ 賛否両論の中、早く議論を見いだして前進を願いたい。
- ☐ 利便性はあるのだから、環境面において、専門的な観点から最小限にとどめられるよう、考慮すべきで従来の20号線も改良すべし。
- ☐ 経済性のみを優先するわけではないが、利便性を見ると、必要不可欠と思う。
- ☐ 私見としては、出来るだけ早期に出来るよう望む。
- ☐ 使い勝手の良い外環を早く作ってほしい。
- ☐ 外環は必要なので早くしてほしい。
- ☐ 十分に必要性の論議を踏まえて進めてください。
- ☐ 外環のことがなんだかぴんと来ない。道路のことなのですか。分かりづらい。
- ☐ 圏央道が完成したら、通り抜けは相当減るのではないのか？また、通り抜けに税をかける等、交通量を増やさない方策はないのか？まだ20年くらいは交通量が増えるという考えには反対！減らす方法をもっと考えられないか。

2-2 意見を聴く会で頂いたご意見

2-2-1 調布市 1月30日意見を聴く会議事概要

日 時：平成17年1月30日（日） 14時00分～16時00分

場 所：緑ヶ丘地域福祉センター

主 催：国土交通省及び東京都

協 力：調布市

参加者：住民23名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長
	秋山 東京外かく環状道路 副所長
	鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	道家 外かく環状道路担当部長
	邊見 外かく環状道路担当課長
	藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
調布市	望月 参事
	井上 都市整備部 次長
	常世田 街づくり推進課 主幹

提示資料：①東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図

②外環ジャーナル第16号、第17号

③東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）に関する方針について

④東京外かく環状道路（関越道～東名高速）（三鷹市～調布市の区間について）

⑤外環の地上部の街路について

⑥環境の現地観測結果（四季）概要版

次 第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・PI協議会が2年間のとりまとめを出し、PI会議が開始した最近の状況について説明したい。
- ・環境調査（四季）に関して報告をさせていただきたい。
- ・去年の地域毎の話し合いで様々な地域の課題について意見をいただいたが、今回具体的な案を示しながら地域の皆さんのご意見をさらにお聴きし必要性の議論に活かしていきたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階から地元の皆様により具体的な案を示して、様々な意見を伺って、よりよい計画案にしていきたい
- ・外環のICあるなしの影響について、十分に説明し、皆様の意見を伺いたい。
- ・練馬区から生活道路としての地上部街路の方針が提出され、それについての区民アンケートをしたと承知している。この対応方針を今後考えていく。

3 出席者紹介

4 資料説明

(資料説明を始める前に発言)

【提示資料⑤について】

- ・「外環の地上部の街路について」の資料について、地上部街路はここ緑ヶ丘地域には関係ない事であり、資料の説明を止めてもらいたい。
- ・地上部街路の資料の説明を止めてもらうより、むしろ聞いてみないと分からない。

(回答：東京都)

- ・地上部街路については、現在大泉～東八道路間で、都市計画決定がされている。他の地区でそのような計画があるので、情報提供のため、資料を添付した。説明を求められたので、資料に基づき内容を説明した。地上部街路は作ることを前提としていない。今後どのようにしていくか、意見を聞きながら、沿線の区市とも検討していきたい。

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・少子高齢化等により、将来車が減少する中で、外環は本当に必要なのか。
- ・京都議定書によるCO₂の削減、ガソリンの高騰等将来自動車を利用しづらくなってくる。さらに都内では公共交通機関の便がよくなっているため、高速道路はいらない。
- ・外環を作ること前提に話している。計画実行はいつ頃なのか。
- ・外環整備後も近隣に残る住民のことも考えてもらいたい。特に外環の工事期間中かなりの影響があると思う。もし作るのなら対策を考えて欲しい。
- ・都内の高速道路のネットワークの骨格が抜けているように感じる。立ち退き等外環沿線の方々には不安もあると思うが、外環は無駄ではないと思う。早く決めてもらいたい。インターについてはA、B案ではなく、C又はD案がよいのではないかと考えている。
- ・国民全体を考えると、かなりの借金を抱えている。車だけをなぜ考えるのか。
- ・計画が決まってから、40年近く経っている。その頃よりも現在は、公共事業に対し裁判を起こすなど市民の力が大きくなっている。事業が長期化するのではないかと。
- ・日本の道路は中途半端。宇宙からみてあばら骨が一本抜けていると思う。後世にできて良かったと思えるものをつくって欲しい。
- ・個人の人権意識が強すぎる。時間ばかりかけてもだめ。早く安く、つくるならつくる。石原知事のときに決断すべき。
- ・早く安くつくるためにICは作らず、外環を整備することを早く決めればよい。今後必要になったら、ICを整備することは可能か。

(回答：国土交通省)

- ・外環を整備することを前提とせず、現在、必要性の議論を継続している。
- ・外環をつくるということになれば、都市計画変更の手続きが必要となり、その後、用地買収、工事という手順となる。
- ・他の環状道路、圏央道、中央環状道路ができて外環が必要だと考えている。
- ・外環はもちろん高速道路を相互に結ぶ高速ネットワークとして必要だが、環八等幹線道路の混雑により、生活道路に進入している交通を排除する等生活環境を守るという効果も見込まれる。
- ・CO₂等トータルで環境への影響については示していく。
- ・外環を整備となった場合、工事については近隣の方々へ不便をお掛けする。工事中の環境への影響については、計画が具体化した段階で、環境影響評価において検討していくが、工事車両は極力生活道路を通らないようにする等対策をしっかりと考えていきたい。

(回答：東京都)

- ・首都圏の高速道路ネットワーク整備の割合は、放射方向9割、環状は3割に満たない。都としては外環をはじめ、3環状の早期整備に向け検討を進める。

【外環の補償について】

- ・補償はどのように考えているのか。
- ・補償の対象は、事業用地のみと考えているのか。
- ・外環の整備後も残る、三日月地の補償はどのように考えているのか。
- ・代替地は考えているのか。またこの周辺にあるのか。現在考えていないなら、作ることが決まってからでは間に合わないのではないか。
- ・集団での移転等、現在あるコミュニティの継続を、全ては無理だと思うが、一部でも考えて欲しい。

(回答：国土交通省)

- ・補償については、現在では計画も固まっていないので、補償する範囲は確定できないが、その範囲は事業用地のみが原則。
- ・補償については、個別の相談になる。代替地も同様であり、個別の相談の中で検討していきたい。

【その他】

- ・凍結は解除されていないのに、都知事は「国土交通大臣が凍結解除した」と発言しており、それに対して都は、「凍結解除はされていないのは事実だが、知事の気持ちがそういうことだから凍結解除されたと発言をした」と発言したが、あれだけの役職にある人が言うことでは、発言の重みが全然違う。

(回答：東京都)

- ・凍結解除に関しては、国の問題である。
- ・知事の発言については、知事の考えを示したものと受け止めている。

2-2-2 調布市 2月9日意見を聴く会議事概要

日 時：平成17年2月9日（水） 18時30分～20時30分

場 所：調布市東部公民館

主 催：国土交通省及び東京都

協 力：調布市

参加者：住民29名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長 秋山 東京外かく環状道路 副所長 鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	邊見 外かく環状道路担当課長 藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
調布市	望月 参事 井上 都市整備部 次長 常世田 街づくり推進課 主幹

提示資料：①東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図

②外環ジャーナル第16号、第17号

③東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）に関する方針について

④東京外かく環状道路（関越道～東名高速）（三鷹市～調布市の区間について）

⑤外環の地上部の街路について

⑥環境の現地観測結果（四季）概要版

次 第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・PI協議会が2年間のとりまとめを出し、PI会議が開始した最近の状況について説明したい。
- ・環境調査（四季）に関して報告をさせていただきたい。
- ・昨年の地域毎の話し合いで様々な地域の課題について意見をいただいたが、今回具体的な案を示しながら地域の皆さんのご意見をさらにお聴きし必要性の議論に活かしていきたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階からICなどについてより具体的な案をいくつか提示し、地域の皆さんの意見を幅広く伺って、よりよい計画案にしていきたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・総工費や予算が全然公表されていない。借金がどんどん増えるのではないかと心配している。
- ・物流はほとんど東京に集まっている。関越から東名にいく自動車がどのくらいあるのか。
- ・工期は何年ぐらいになるのか。
- ・京王線の連立事業と外環の整合性を知りたい。

(回答：国土交通省)

- ・外環の事業費はICがない場合で、1兆2千億円ぐらいと考えている。便益はそれ以上あると考えている。民営化会社がつくる場合は利用者の通行料金で整備する。国が直轄で道路をつくる場合は、ガソリン税や自動車重量税から事業費を出すことになる。いずれにしても、自動車利用者から賄うことになる。
- ・交通量に関しては、都心に関係のない通過交通が、都心に14%もはいつてきている。外環ができれば、その通過交通を外環に転換することができる。
- ・できるだけはやく必要性の結論は出していきたい。必要性が決まった後、計画変更手続きに1～1.5年ぐらいかかる。その後の工事は10年ぐらいかかる。

(回答：調布市)

- ・外環のインターチェンジができると、京王線との調整が必要であると考えているが、現段階ではなんともかなるのではないかと考えている。

【環境影響について】

- ・外環の深さやJCT等が関係すると思うが地下水にはどんな影響があるのか
- ・湧水に関してどのような調査をしており、どんな影響が予想され、それにどのようにして対処しようと考えているのか。
- ・野川への影響をしっかりと検討してほしい。
- ・去年は異常気象であり、環境調査で観測した状況は平均的な環境の状況と異なる。平均的な調査結果を得るために環境調査を続けてほしい。
- ・国分寺崖線や野川を守る必要がある。自然環境を調べて報告してほしい。
- ・環七で地下河川をつくっているようだが、そこでは問題はないのか。
- ・シールド工事の結果、トンネル内に出てくる地下水は、そのまま地下に残すのか。それとも地上にくみ上げて処理するのか。
- ・野川はよく水が枯れたりする。野川が枯れないようにくみ上げた水を野川に流したりする等の対応をしてほしい。

(回答：国土交通省)

- ・環境調査の中で、地下水、湧水、野川の流量の現在の状況を調査している。環境の影響に関する予測、評価は今後行う。
- ・地下水への影響などは過去何年かの降水量のデータなども活用しながら予測していくことになる。
- ・シールド構造であるため地下水が漏水するなどの問題は少ないと考えるが、必要があれば地上部にくみ上げることも考える。

(回答：東京都)

- ・環七地下河川はシールドで整備しているが、今のところシールドに関しては問題が起きたとは聞いていない。
- ・大江戸線にも地下40mを超えるところがあり、深くても特に問題はないが、安全性には配慮する必要がある。
- ・横須賀線のトンネルや東京駅では、トンネル内に出てきた地下水をくみ上げて皇居のお堀等にもっていくという事例がある。

【IC検討案について】

- ・ A～D案のどの案が良いかを言えば、その案で決定するのか。
- ・ 外環をつくることを前提でICをつくるかどうかを議論するということか。
- ・ ICに関して有識者委員会やPI協議会では、どのような提言が出されているのか。
- ・ 中央高速と20号線が西調布でつながっているためICは必要ない。自分たちの家も立ち退きになってしまう。早くどうなるか決定してほしい。
- ・ 利便性を考えてB案にしてほしい。
- ・ D案に比べて、B案の事業費がやけに高い。ICを設置した場合のアクセス道路整備や交通集中対策の費用も含めて、トータルでIC設置の事業費を比較すべき。
- ・ 外環が東名で止まると大泉と同じ状況になることが予想されるので、しっかりとした対策案を示してほしい。
- ・ 国道20号にICができる場合、今の国道20号はかなり影響を受けると考えられる。ICをつくるということであれば、しっかりとした対策をしないとイケない。

(回答：国土交通省)

- ・ ICの設置は、住民のみなさんの意見を参考にし、地元自治体と協議して決定していく。
- ・ 現在は必要性の議論をしているため、外環をつくることありきではない。ただ、ICありなしで地元への影響が随分違うため、そこを踏まえて必要性の議論をしたいと考えている。
- ・ 有識者委員会からはICなし地下化案を検討の基本とするべきとの提言をもらっている。国と都の方針では、ICに関しては地元の意向を聞きながらすすめていくとしている。協議会では必要性の議論をしており、ICの話までいっていない。
- ・ 大泉では周辺道路が整備されていない等の理由で混雑が発生している。今後、一時的に東名で止まった場合の結果も示した上で、大泉と同じ問題が発生しないように対応していきたい。

(回答：東京都)

- ・ ICがないと都民が使えない道路となる適切な箇所にICは必要と考えている。

【補償について】

- ・ 計画線の中の土地で鉄骨二階建ての建物を立てた後で計画制限がはずれた場合、価値がひくいままになってしまうが、その場合の補償はどうなるのか。
- ・ 生活再建救済制度はいつまで有効か。
- ・ 生活再建救済制度の内容を対象者に伝えてあるのか。
- ・ 市が生活再建救済制度に関して地元の説明しにこないという姿勢が問題。

(回答：国土交通省)

- ・ 生活再建救済制度は昭和41年の都市計画決定の線の中の人を対象で、現在の都市計画決定が残っている限り制度は残る。

(回答：東京都)

- ・ 大深度地下に計画を変更した場合、従前の都市計画によって計画制限を受けていたことにさかのぼって補償を行うことは難しい。

(回答：調布市)

- ・ 生活再建救済制度については去年5月に市報で知らせた17年度も対応し、広報していく予定。生活再建救済制度に関する相談は個別に連絡してほしい。

【P Iについて】

- ・こういう議論の場では反対意見が強く出る。もっと話しやすい場でIC検討案を議論していきたい。
- ・外環は埼玉まで出来ているのであるから、途中でやめるのではなく初志貫徹して、やるかやらないか徹底的に議論すべき。

(回答：国土交通省)

- ・S41の都市計画の進め方に問題があり、時代も違うので、みなさんのご意見を聴きながらすすめている。
- ・都心の通過交通や沿線の環境改善するために外環は必要であると考えているが、地域の懸念も聞きながら検討を進めている。

【その他】

- ・説明会では、いつも反対意見が強く出て、あまり賛成意見が出ない。もう少し話しやすい場でI Cの議論が必要。

2-2-3 調布市 2月14日意見を聴く会議事概要

日 時：平成17年2月14日（月） 18時30分～20時30分

場 所：調布市文化会館たづくり

主 催：国土交通省及び東京都

協 力：調布市

参加者：住民12名

国土交通省	山本 東京外かく環状道路事務所長 秋山 東京外かく環状道路 副所長 鈴木 東京外かく環状道路 調査課長
東京都	道家 外かく環状道路担当部長 邊見 外かく環状道路担当課長 藤井 外かく環状道路担当 課長補佐
調布市	望月 参事 井上 都市整備部 次長 常世田 街づくり推進課 主幹

提示資料：①東京外かく環状道路東京圏自動車専用道路網図
②外環ジャーナル第16号、第17号
③東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）に関する方針について
④東京外かく環状道路（関越道～東名高速）（三鷹市～調布市の区間について）
⑤外環の地上部の街路について
⑥環境の現地観測結果（四季）概要版

次 第：1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 資料説明 5 意見交換 6 閉会

議事概要

1 開会

2 あいさつ

国土交通省

- ・P I協議会が2年間のとりまとめを出し、P I会議が開始した最近の状況について説明したい。
- ・環境調査（四季）に関して報告をさせていただきたい。
- ・昨年の地域毎の話し合いで様々な地域の課題について意見をいただいたが、今回具体的な案を示しながら地域の皆さんのご意見をさらにお聴きし必要性の議論に活かしていきたい。

東京都

- ・計画づくりの早い段階からICなどについてより具体的な案をいくつか提示し、地域の皆さんの意見を幅広く伺って、よりよい計画案にしていきたい。

3 出席者紹介

4 資料説明

5 意見交換

意見：おもな意見は以下のとおり。

【外環の本線について】

- ・全体の事業費はいくらになるのか。都の負担はどの程度なのか。
- ・交通量1台あたりの料金はどの程度になるのか。
- ・東京のような人口が多い地域で採算がとれないような道路はつくるべきではないのではないか。
- ・昭和41年当時から、住民意識の変化や人口減少など状況が変化してきており、あらためて考える問題である。
- ・圏央道ができれば都心の渋滞はかなり解消するのではないかと。
- ・都心の渋滞緩和が一番の問題であり、地域の利便性の議論とは分けた方がわかりやすいのではないかと。
- ・先に本線を整備して、後からICをつくれればよいのではないかと。

(回答：国土交通省)

- ・ICがない場合、外環本線の整備に1兆2千億円程度かかると考えている。
- ・民営化会社が整備する場合、民営化会社が資金を借り入れて料金収入で償還する方法で道路を整備するため基本的に自治体の負担はない。
- ・国が直轄で整備する場合、道路特定財源を使うこととなり、地方の負担が1／4となる。
- ・外環はどのような事業手法で整備するのかは現時点で決まっていない。必要性の検討が先で、整備のスキームはその先の話となる。
- ・一般論として、民営化会社が整備する場合、45年間で償還できるように料金を設定することとなる。
- ・国が整備する場合は料金はもらわない。
- ・事業主体が決定してから料金が決まることになる。
- ・道路の必要性と採算性の議論は分けて考える必要がある。仮に必要だということになった後に採算性の議論をすることになる。
- ・2006年をピークに人口は減少するが、交通量は2020～2030年にピークを迎え、その後減少していくことになる。
- ・横浜、川崎から埼玉に、埼玉から横浜、川崎などの神奈川との交通が多く、このような需要を圏央道では賄うことは難しい。
- ・ICも本線と一緒につくらないと整備が難しい。

(回答：東京都)

- ・外環本線はICも含めて、民営化会社が整備する場合、都の負担はないと考えている。

【環境影響について】

- ・大気質が将来どのように変化するか。環境基準と比べてどの程度になるのか具体的な数値を知りたい。

(回答：国土交通省)

- ・大気の数値は、構造が確定後、環境影響評価にしたがって予測していくこととなる。

【IC検討案について】

- ・ICを整備した場合、国道20号の将来交通量が約5万台とあるが、予測の根拠を示してほしい。
- ・利便性を優先した考え方が見受けられるが、原点に戻って考えるべきではないかと。
- ・環境問題や事業費を考えると国道20号ICは個人的には不要である。
- ・利便性の面でIC設置を支持する人はどのような意見があり、逆の立場の人はどのような意見を言っているのか。

(回答：国土交通省)

- ・予測は平成42年を対象としており、中央環状、圏央道、東八道路等のネットワークができあがることを前提に予測している。
- ・ICのパンフの中では生活への影響など利便性以外の項目も、利便性と同等に扱っている。
- ・ICが必要だという人、不要であるという人など多様な意見がある。

(回答：東京都)

- ・5つのICすべてが必要であるとは思っていないが、ICが無いと既存のICに負担がかかることと、都民が利用することを考えると、適切な箇所にはICが必要と考えている。
- ・ICを設置することで、現在、環八や環七の利用者が外環に乗ることができるため、外環の整備効果が高まる。

【地上部街路について】

- ・地上部街路について説明してほしい。

(回答：東京都)

- ・現在の都市計画で、外環ノ2と付属街路を都市計画決定している。本線を地下化した場合、地上部街路をどうするのかという議論が必要となる。意見を聞きながら、地上部街路について地元区市と検討していきたい。

【P Iについて】

- ・必要性の共通認識に至っていないこととIC検討案に関して意見を聴くこととの関係を説明してほしい。

(回答：国土交通省)

- ・必要性には効果と影響があるが、効果と影響はICの有無で大きく異なることから、地域の人々が何を望んでいるのかを把握した上で、必要性の検討にフィードバックしていきたい。